

瑞雲

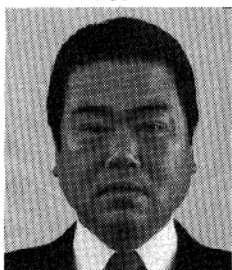
直方鉄工青年会

第46号

編集 広報委員会
発行 1987.2.28

特集 この1年をふりかえって

力を合わせ、
頑張ってください。



会長
渡辺 泰輔

旧年の4月に22代会長の命を受け、やがて1年が過ぎようとしていますが、この1年間を振り返ってみますと、先ず会員の皆様諸先輩の皆様、それに日頃より大変お世話になっている関係各位皆様の暖いご協力・ご指導・ご支援の賜と深く感謝致すと共に先ずは厚くお礼申し上げます。

少ない限られた予算の中から各委員会別に振り分け、その中から事業計画作成と云う従来と違った形でスタートしたわけですが、各委員会のご協力により「従来よりの事業」又「新しい事業」と計画立案に当り、それを各委員会が責任を持って事業遂行に当たっていただき消化出来た事を大変うれしく又感謝致しています。

まだ残された事業もありますが会員皆様の最後までのご協力をお願い申し上げます。

今後は円高不況の中で鉄工青年会も非常に大変な時代を迎えるわけですが、このような時こそ会員一同が力を合せて頑張っていこうではありませんか。

幸いにも23代会長の岩野博之君は温厚・誠実・行動力のある人です。直方鉄工青年会が今以上に躍進・充実致す事を確信し、私以上のご協力の程をお願い申し上げます。

1年間ありがとうございました。

8年間、お世話になりました。

石松 徹也

3月末日で無事卒業させていただきます。

先づ皆さまにお礼を申し上げます。私は54年5月内藤博俊会長の時に入会させていただきました。丁度15周年を迎える年で会員拡大がされ同年入会者13名の大量入会者があり、新入会員にとって心強く感じた事を思い出します。49年に直方に来てから6年目で、やっと地理が飲み込めた程度で、鉄工所の方々とのお付き合いも少く、入会によって多くの会員の皆さまと出会う機会が出来て大変嬉しく思いました。人との出会いについては、青年

会を通じ他団体との交流や各種の集まりに出席することにより、業種、地域を越えた出会いがあったことも貴重な経験だったと思います。

会長という大役を60年度にお引き受けさせていただいた事は私にとって大変大きな財産となりました。今後も大切にして行きたいと思っています。1年間1生懸命務めさせていただきましたが、会員の皆さまの為になったかどうか疑問です。会員の皆さまの御協力と御支援を賜わり1年間で、自分自身、大変大きなものを数多く体得し得たことに対し、改めて皆さまに感謝とお礼を申し上げます。

8年間を振り返って見ますと、多くの事を思い出しますと、どれを取っても皆さんと一緒に苦労したことばかりで、自分なりに頑張っており、満足しております。

今年で46歳。「青年」の2文字の入った組織から全て卒業することになり、原稿を書きながら寂しくなります。

今テレビコマーシャルに『どうせなるならギザギザの沢山ついた歯車になりたい』というのがありますが、私もまだ46歳、ギザギザの沢山ついた歯車で飯が食えるよう頑張らねばと思っています

『去る者は日にうとし』と言われますが、今後共宜しく御指導の程お願い申し上げますと共に、青年会、会員企業の御発展と皆さまの御健康をお祈り致します。

好景気到来を 辛抱づくよく・・・

福山和義

私も45歳になり、3月末で青年会卒業となりますが、何分私は出席も悪く、活動にもあまり参加していませんが、青年会への入会目的である会員の方々及びOB会員の皆様との友好を高める事と、同業者の方々の中から、今迄以上に何人かの方でも、真の友人が出来ればと思っておりましたが、幸いに友人にも恵まれ、良い思い出を持って卒業出来る事を嬉しく思っております。

私が青年会に入会前、昭和54年頃より我社（福山鉄工）も以前からの下積みの苦勞が報われ、社員の技術向上に伴ない、売上げも伸び、営業もや

りやすくなり、ここ数年で、設備にもずい分と投資を行いました。その当時には、好不況の波幅が小さく、社内及び社外にも打つ手が良く当り、ずい分と、仕事のやりがいもありましたが、現在の不況の大きさは、鉄工業の中で生れ育ち鉄工経験32年の中でも、最大のものと思われまます。だが私は、不景気があるから、好景気があると思えますし、又、何度も経験したので、今度もまづ、好景気が来ると信じております。卒業に当りまして、若い会員の皆様に現状を打開して戴き、仕事があふれ、もうかる時代が来る事を夢見、信じて戴きたいと願います。

青年会を卒業後も、仕事に遊びに大いに努力する所存ですので、今後とも宜しく御指導御鞭撻の程お願い致します。

後輩を育てることも、 職務のひとつ。

厚生委員長
井上 進

小生青年会に入会させていただき、早7年半。今年1年をもって卒業させていただく様になりました。

その間、広報、経営、まつりくらじ、そして今年厚生委員長を短い間ではありましたが、色々な人のおかげで、数多くの経験・勉強をさせていただいた事本当に幸せな男と感謝しております。

年会費6万は無駄に使ったとは思っていません。いや二倍にも三倍にも利用させていただいたと思っております。

ただ利用させていただいた二倍、三倍ものお金の代償として、青年会に、又、自分を支援してくれた人達にどんな形で御恩返しが出来たでしょうか？自問自答します。

小生昔、ある組織に属していた時、自分を非常にかわいがってくれた人に、その人が卒業される際こういう質問をした事が有ります。「先輩、私は何か先輩にお役に立つ事が出来たでしょうか？」その先輩は私に云われました。「本当にそう思うのなら、すばらしい後輩を育てなさい。それ

が私に対する恩返しなのです。」と。小生幸か不幸か委員長だけしか経験が有りません。広報、経営、まつりくらじと各委員長の時は、自分自身の事で精一ぱい。後輩を育てていく余裕すら有りませんでした。だが61年度渡辺会長にひろわれ、厚生委員長をおうせつけられて1年間、その事の為に人生なりに努力して来たつもりです。小生

ある例会の日に、若いメンバーの1人がこういうスピーチをしてくれた事が今でも心にくっきりと残っています。

「青年会に入会して3年目。今までの2年間は自分が何をすれば良いのかまったく解らなかつたけど今年1年厚生委員会に属し、委員長に、副委員長にあれをやれこれをやれと云われて、無我無中に動いているうちに、自分が青年会に入り何をやるべきかが少しでも解りかけて来た様な気がします。」とこの言葉を小生の青年会活動の中で残し得た、唯一の心の財産として残された1年間、後輩を育てていく為、何らかのお役にたてたらと心から念願致します。

役員の方々、アドバイス 有難うございました。

総務委員長
得 居 慎 一

はやいものです。もう1年をふりかえっての原稿依頼がくる時期となったのですね。

渡辺会長より総務委員長に任命され、1年が過ぎようとしています。今にして想えば、あつという間の1年でした。総務委員会というのは、何らかの形で毎月の例会に関与しているので、サイクルが短く感じられる為でしょう。

1月に1回とは言っても早い時は1カ月前から準備打合せに入りますし、平均して半月位は例会の段取りを考えている訳です。

しかし、そのお陰で青年会の行事については、1年を通じてその活動内容までよく理解できますそのうえ、来賓・ゲスト等への案内や勧誘を通じて、数多くの方々と接する機会を得られるという良い点もあります。

総務委員長としてのこの1年でもっとも印象に

残る事としては、実に渡辺会長が細かな点まで気がつかれ、気配りされるという事でした。私も青年会に入会して満8年になろうとしています。

そのせいか、知らず知らず、ずるさがでて、段取りや打合せについて手抜きをしていましたが、会長はそういう点によく気がつかれて、的確なアドバイスをしていただきました。おかげ様で総務委員会として、大過なく1年を務めさせていただいたと思います。

渡辺会長への感謝の気持と、又、準備打合せ等で大変お世話になりました高倉副会長と吉田事務局長へのお礼を紙面をおかりして、申し上げたいと思います。

色々にご迷惑をおかけしましたがおかげ様で1年無事に務める事ができました。

どうもありがとうございました。

この経験を下地に、 更に一層。

経営委員長
篠 崎 光 繁

紹介会員でもあられた渡辺会長より経営委員長に指名されて、早いものでもう1年が過ぎようとしている。他にも優秀な人材が山程おられる中でまだまだ経営者としての資質に欠ける私を渡辺会長が、経営委員長に指名されたのは、自分が紹介したからには最後まで面倒を見てやらなければいけないと云う渡辺会長独特の気くばりは、ともかく早く一人前の経営者になれと云う思いやりではなかったかと思っています。その期待にも拘らず十分な成果が伴わず迷惑のかけ放題でした。

改めて深くお詫び申し上げます。

しかしながら、この経験を下地にして更に一層の努力を重ねてまいりたいと思っています。

最後になりましたが、このような勉強の機会を与えて下さいました渡辺会長そして最後まで協力して頂いた村井(昇)副委員長をはじめ、委員会の皆様に紙上を借りまして深く御礼申し上げます。本当に有難うございました。

研修旅行の感想と 牛島和弘 新入会員になって!!

先日、田島委員長より研修旅行の感想文を書いて下さいとの依頼がありましたが、旅行の感想を、述べるにはちよっと月日がたち過ぎてるみたいだけれど……思い出した!!

行先は別府確か別府だったかな?

出席者は会員四十数名中二十名足らずの参加者でちよっと寂しい人数だった。

自分は会員に入会してまだ半年、鉄工会の行事には出来るだけ積極的に参加する事に心がけている。それは少しでも早く会員の人達との連帯感を深めたいからである。

今回の旅行や、今までの研修旅行が半数以下と聞いて驚いている。来年の研修旅行は全員参加の楽しい旅行にしたいものだ。

それから旅行に参加されなかった会員諸君に一言報告しておきます。研修旅行の参加者全員は、けっしてエイズにはかかっておりません。

自分は特に大丈夫です!!??

エイズにかかるとエイズもんね

話は変わりますが、皆さん今年は鉄工会にとりまして、他の企業にしましても最悪の年です。今年こそ初心にかえり会長をピラミッドの頂点として会員一丸となり土台をしっかり和をもって今年を乗り切ろう。社会党の土井たか子さんが言いました。

鉄工会の皆さん「やるしかない」

※カズさんをよろしくお願いします。

経済教室

景気後退は輸出減主因

底入れた鉄鋼市況

減産で在庫調整進む 韓国の動きが気掛かり

1987年 2月 24日

表1 2000年の日本と世界

| 項目 | 1995年 | 2000年 |
|---------------|----------|----------|
| 世界の人口(億人) | 52.6 | 61.1 |
| 日本の人口(百万人) | 127.1 | 126.8 |
| 世界GDP(兆円) | 44,136.8 | 62,092.9 |
| 日本GDP(兆円) | 4,827.9 | 5,446.9 |
| 世界貿易総額(兆円) | 11,672.8 | 18,112.1 |
| 日本貿易総額(兆円) | 2,311.2 | 2,744.5 |
| 世界貿易総額/GDP(%) | 26.3 | 28.2 |
| 日本貿易総額/GDP(%) | 47.9 | 50.6 |
| 世界貿易総額/GDP(%) | 26.3 | 28.2 |
| 日本貿易総額/GDP(%) | 47.9 | 50.6 |

表2 2000年の輸出入に影響を及ぼす要因

輸出

- 景気後退による需要減
- 貿易保護主義の復活
- NIGの機械輸出の増加
- 非鉄金属輸出の増加
- VTR：中国向けが増える
- 高成長国向けが増える
- 電機機器の輸出の増加
- 自動車：対米輸出の減少
- 繊維：中国向け、韓国向けが増える
- 造船：韓国の低迷、韓国の輸出の増加

輸入

- 資源物の買付の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加

表3 2000年の輸出入に影響を及ぼす要因

輸出

- 景気後退による需要減
- 貿易保護主義の復活
- NIGの機械輸出の増加
- 非鉄金属輸出の増加
- VTR：中国向けが増える
- 高成長国向けが増える
- 電機機器の輸出の増加
- 自動車：対米輸出の減少
- 繊維：中国向け、韓国向けが増える
- 造船：韓国の低迷、韓国の輸出の増加

輸入

- 資源物の買付の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加

表4 2000年の輸出入に影響を及ぼす要因

輸出

- 景気後退による需要減
- 貿易保護主義の復活
- NIGの機械輸出の増加
- 非鉄金属輸出の増加
- VTR：中国向けが増える
- 高成長国向けが増える
- 電機機器の輸出の増加
- 自動車：対米輸出の減少
- 繊維：中国向け、韓国向けが増える
- 造船：韓国の低迷、韓国の輸出の増加

輸入

- 資源物の買付の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加
- 中国からの輸入の増加